

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

オプトアウトポスター

当研究施設では下記の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 安静時脳活動に見るトラウマの痕跡: 幼少期トラウマが成人の精神健康に与える影響の研究 (2024C-31)

【研究責任者】 国立成育医療研究センター, 研究所, 戦略的研究部門 医用深層学習研究室
高村 恒人

【本研究の目的及び意義】 本研究の目的は、幼少期に経験するトラウマ（虐待、ネグレクト、過保護、家族機能不全など）が脳の構造や機能に与える影響を明らかにすることです。さらに、その影響が現在は精神的に健康な個人においても、将来的にうつ病や不安症などの精神疾患発症のリスクを高める要因となり得るかを検討します。本研究を通じて、幼少期トラウマが脳回路に及ぼす影響やその「スペクトラム性」（幅広い影響範囲）を理解することで、精神疾患の発症メカニズムを解明し、将来的な予防や早期発見への貢献が期待されます。

対象となる方

2020年4月1日より現在までの間に、以下研究に参加された方。

- ・摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出（第2期）

研究期間

倫理審査委員会承認日から西暦 2025 年 3 月 31 日まで

対象データ

上記研究で収集された MRI 画像および心理検査データ

心理検査データには以下の項目が含まれる。

- ・CTQ (Childhood Trauma Questionnaire)
- ・抑うつの評定尺度 (Beck Depression Inventory-Second Edition; BDI-II)

- ・不安の評定尺度 (State-Trait Anxiety Inventory-Form JYZ; STAI)

MRI 画像および心理検査データの利用の辞退について

本研究において、MRI 画像および心理検査データの使用を希望されない場合は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。ご辞退のご連絡をいただいた場合、該当する試料は本研究には使用いたしません。また、ご辞退によって不利益を被ることは一切ありません。ただし、ご辞退のご連絡をいただいた時点で、すでに研究成果が論文等で公表されている場合、結果の廃棄はできかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

問い合わせ窓口

本研究に関するご質問・お問い合わせは下記にご連絡ください。

国立成育医療研究センター，研究所，戦略的研究部門 医用深層学習研究室 高村 恒人

住所: 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話: 03-3416-0181

FAX: 03-3416-2222

オプトアウト対応窓口

オプトアウトに関するご質問・お問い合わせは下記にご連絡ください。

国立精神・神経医療研究センター，精神保健研究所，行動医学研究部 関口 敦

住所: 〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

TEL: 042-341-2711 (代表)

FAX: 042-346-1944